

記入例

※すべて「えんぴつ」で記入してください。

農業経営改善計画認定申請書

○	弘前市長 殿
	青森県知事 殿
	東北農政局長 殿
	農林水産大臣 殿

申請者	住所	弘前市大字上白銀町1-1		連絡先	080-1234-5678 12-3456
	フリガナ	ヒロサキ イチロウ	フリガナ		
	個人・法人名	弘前 市郎	代表者氏名 (法人のみ)		
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和43年2月1日	法人番号		

令和 年 月 日

日付は受付窓口において記入しますので、
記入不要です。

個人名又は代表者名は署名してください。
なお、申請者が法人の場合又は法人以外でも本人(代表者)が手続きしない場合は、記名押印してください。

※法人名義で申請される場合は、定款・現在事項全部証明書を添付してください。
※共同申請の場合は家族経営協定書の写しを提出してください。

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画												
① 農業経営体の営農活動の現状及び目標												
(1) 営農類型												
現 状						目 標 (R ○ 年)						
<input type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input checked="" type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物() <input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産()						<input type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物() <input type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産()						
(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標												
		現 状		目 標 (R ○ 年)				現 状		目 標 (R ○ 年)		
年間所得		400 万円		500 万円		年間労働時間		5,680 時間		7,280 時間		
主たる従事者1人 当たりの年間所得		400 万円		500 万円		主たる従事者1人 当たりの年間労働時間		2,240 時間		2,000 時間		
② 農業経営の規模拡大に関する現状及び目標												
(1) 生産										(2) 農畜産物の加工・販売その他の 関連・附帯事業(売上げ)		
作目・部門名 (耕 種)	現 状		目 標 (R ○ 年)		作目・部門名 (畜 産)	現 状		目 標 (R ○ 年)		事 業 内 容	現 状	目 標 (R ○ 年)
	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量		飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量			
りんご	260	3,000箱	310	4,100箱						りんご生果	15 万円	30 万円
										りんごジュース	5 万円	10 万円
水稻	100	80俵	50	40俵						作業受託	30 万円	50 万円
大豆(転作)	70	2,000kg	120	3,400kg							万円	万円

該当する営農類型1つにチェックしてください。
※果樹(りんご)と水稻の場合、「複合経営」のみにチェックしてください。
※「複合経営」とは、経営体毎の農産物販売金額1位の部門(作目)の販売金額が農産物総販売金額の80%に満たない経営をいいます。

年間労働時間は、経営の構成員全員の労働時間の合計を記載してください。

主たる従事者とは、農業経営において主体的な役割を担う者で、個人の場合は世帯主が、法人の場合は経営者・役員等が当たります。複数人いる場合は、主たる従事者の労働時間の合計を人数で除したものを記載してください。

宅配、ジュース加工、直売所等関連事業に関して、計画がある場合のみ記入してください。

※所得ではなく、売上を記載してください。

(3) 農用地及び農業生産施設												
ア 農用地						イ 農業生産施設						
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目 標 (R ○ 年) (a)	種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名					現 状		目 標 (R ○ 年)			
							棟	㎡	棟	㎡		
所有地	青森県	弘前市	畑	100	150	育苗ハウス	青森県	弘前市	1	99	2	198
	青森県	弘前市	田	170	170							
借入地	青森県	弘前市	畑	150	150							
その他	青森県	弘前市	畑	10	10							
経 営 面 積 合 計				430	480	経 営 面 積 合 計		1	99	2	198	
③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置						
<ul style="list-style-type: none">●近隣の農地を取得して、営農規模を拡大する。●(りんご)丸葉台からわい化台に改植を進め、作業性の高い園地を目指す。●(りんご)老齡樹の改植を継続して行い、収量の維持向上を図る。●(りんご)無袋、葉取らず栽培、品種構成の適正化による省力化を図る。●(作物名)有機農業への取り組みを進め青森県特別栽培農産物として認証を受ける。●転作作物(大豆)の作付を進める。						<ul style="list-style-type: none">●現状は白色申告、単式簿記のため青色申告、複式簿記を実施し、経営分析を行う。●青色申告、複式簿記を継続し、経営分析も実施する。●インターネットやSNSを利用し、販路を拡大する。●法人化への移行を検討する。						
⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置						⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置						
<ul style="list-style-type: none">●現状は休日を決めておらず、生活にメリハリがないため休日制の実施を目指す。●宅配の充実による農閑期の作業確保を目指す。●家族間で役割が決めていないため、家族経営協定の締結を目指す。●ハローワーク等を活用し臨時雇用を確保しながら、体力的に無理のない経営を行っていく。						<ul style="list-style-type: none">●農地の規模拡大及び農業用機械購入のため、スーパーL資金等の活用を予定している。(令和○年頃、500万円程度)●反収増加のため、改植事業等の活用を予定している。●農業用機械等設備拡充のため、補助事業の活用し導入を検討している。						

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇 用 者					
氏 名 (法人経営にあっては役 員の氏名)	年齢	性別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 状			見通し (R ○ 年)			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	人	見通し	人
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	4 人	見通し	4 人
弘前 市郎	56	男	(代表者)	作業全般	○	2,240	作業全般	○	2,000						
市子	53	女	妻	〃		1,440	〃		1,440						
太郎	78	男	父	〃		2,000	〃		1,840						
鷹丸	29	男	子 (後継者)	〃		0	〃		2,000						

その他の欄には特定作業受託を受託する農地の面積のみ記載して下さい。
※特定作業受託として計上するには、
農作業・農産物販売受委託契約書など、
農作業受託が特定作業受託に該当することを証明する書類を提出してください。

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称 ※該当機械等に○		数量
○	スピードスプレヤー 1,000ℓ(共・更)	1
	乗用草刈機	
	運搬車	
○	高所作業機 (追)	1
	トラック	
	フォークリフト	
○	トラクター 60ps×1(追)、75ps×1(追)	2
	田植機	
	コンバイン	
	乾燥機	
	農舎	

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。
(②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)

(参考) 農業用機械等の詳細

現状の数量	目標年の数量
2	2
3	3
1	1
0	1
2	2
1	1
1	3

- (別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画について

 - ・ 農業用機械等について、該当機械等に○をし、取得予定数量を記載してください。
また、把握可能であれば、機械の能力(馬力等)を機械等名称の右の余白に記載してください。
 - ・ その他、機械等名称の右の余白には以下の事項を記載してください。
共同で使用する機械は ⇒ (共)
機械等を更新する場合は ⇒ (更)
機械等を追加する場合は ⇒ (追)
- (参考) 農業用機械等の詳細について

 - ・ 「(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画について」に記載した機械について、現状及び目標年の数量見込を記載してください。